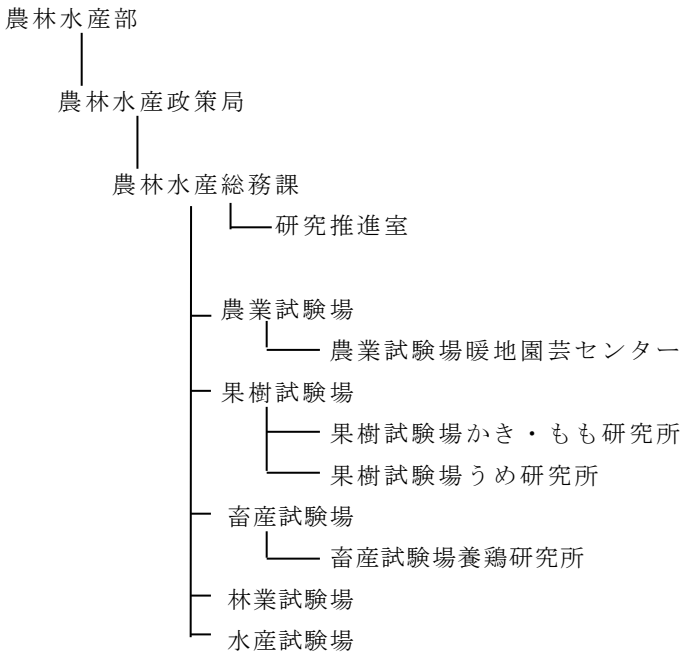
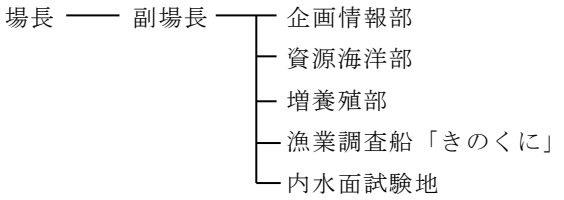
水産試験場概要

Ⅰ　機構と組織

1．機構



2．内部組織



3．職員の構成

区　分	行政職	研究職	計
場長		1	1
副場長		1	1
企画情報部		3	3
資源海洋部		6	6
増養殖部	1	4	5
漁業調査船	7		7
内水面試験地		4	4
	8	１９	２７

4．職員と事務分担

部名	職名	氏名	事務分担
	場　長	岩橋　恵洋	場の総合企画及び総括に関すること
	副場長	樫山　晃晴	場長の補佐，人事，服務，庁舎の管理，予算の総括に関すること
企画情報部	部　長	諏訪　　剛	部の総括・企画調整，流通対策，庶務，成果の公表・普及に関すること
	副主査研究員	西條　大輔	藻場造成（アカモク・ヒジキ以外），藻場モニタリング調査に関すること
	研究員	大野　弘貴	藻場造成(アカモク・ヒジキ)に関すること
資源海洋部	部　長	林　　寛文	部の総括・企画調整，漁海況速報に関すること
	主任研究員	高橋　芳明	資源管理・回復推進，まき網漁業に関すること
	主任研究員	御所　豊穂	海洋観測に関すること
	主任研究員	安江　尚孝	漁業資源・漁場調査と情報提供(総括)，船びき網漁業，卵稚仔調査に関すること
	副主査研究員	小川　満也	漁業資源・漁場情報と情報提供（イサキ，ブリ等），イセエビに関すること
	研究員	藤田　朋季	高度回遊性魚類(カツオ・マグロ類)，カツオマップに関すること
増養殖部	部　長	原田　慈雄	部の総括・企画調整，飼育施設等の保守管理に関すること
	主査研究員	武田　崇史	魚類種苗生産・養殖に関すること
	副主査研究員	賀集　健太	水産衛生対策，漁場環境(赤潮・貝毒)，漁場環境(生物モニタリング)に関すること
	副主査	佐々木明生	調査研究の補助，船舶「なぎ丸」・海上筏の管理に関すること
	研究員	坂本　一真	藻類種苗生産・養殖（ｱｶﾓｸ・ﾋｼﾞｷ以外），栽培漁業，介類増養殖に関すること
漁業調査船	船　長	住谷　勝志	船舶の管理・運航，海洋観測調査，飼育施設等の保守管理に関すること
（きのくに）	機関長	鳥居　英希	〃
	副主査航海士	半田　憲生	〃
	副主査機関士	岸　　幸一	〃
	副主査機関士	濵口　尚信	〃
	副主査機関士	平見　謹一	〃
	航海士	伊藤　博雄	〃
内水面試験地	主任研究員	田中　俊充	ウナギ資源に関すること
	主査研究員	堅田　昌英	水産衛生対策，アユ冷水病対策に関すること
	副主査研究員	松尾　　怜	アユ資源に関すること
	副主査研究員	平野　育生	内水面漁業・養殖技術指導に関すること

Ⅱ 業務

1. 試験研究項目一覧

単位（千円）

事業名又は課題名	財源内訳				
	予算額	国庫	使用料・手数料	諸収入	一般財源
水産試験場費	114,897	27,501	2,471		84,925
水産試験場運営	34,902				34,902
内水面試験地運営	9,193		2,471		6,722
調査船運航	35,249				35,249
シロアマダイの種苗量産技術の開発	1,749				1,749
漁業資源・漁場調査と情報提供	18,180	18,180			
アシアカエビの養殖技術の開発	859				859
アカモク藻場造成技術の開発	1,357				1,357
水産衛生対策	1,444	722			722
魚類病害微生物の定量的検出技術の開発	654				654
アユ資源量に関する基礎調査	432				432
抗菌剤を使用しないアユ冷水病防除技術の開発	1,068				1,068
～早期実用化への試み～					
シラスウナギ来遊量調査	500	500			
資源回復のための種苗育成・放流手法検討	420	420			
主要藻場モニタリング調査	346				346
高度回遊性魚類調査（マグロ）	7,679	7,679			
新規漁場開発と資源調査	865				865
水産業振興費	2,332				2,332
資源管理・回復推進(資源管理課)	1,469				1,469
漁場環境保全等モニタリング(資源管理課)	211				211
栽培漁業推進（水産振興課）	652				652
漁業調整費	54				54
漁業・遊漁調整（資源管理課）	54				54
漁業構造改善費	691				691
漁場効果調査（水産振興課）	691				691
	117,974	27,501	2,471		88,002

Ⅲ 業績

1. 外部に発表した事項

(1)一般雑誌　　なし

(2)書籍　　なし

(3)学会等の発表

題　　名	発 表 者	発　表　誌
・低塩分海水を用いたモクズガニ種苗安定生産技術の開発	武田 崇史	令和 5 年度日本水産学会近畿支部前期例会
・アーカイバルタグの記録で示された和歌山県沿岸に設置された表層型浮魚礁に蝟集したカツオの鉛直移動	山根 弘士 安江 尚孝 青木 良徳 松原 直人 上田 優哉 津田 裕一 清藤 秀理	令和 5 年度日本水産学会近畿支部後期例会
・クエ稚魚の個体発生に伴う攻撃行動の変化と給餌量，体サイズの差異および収容密度が攻撃行動に及ぼす影響	武田 崇史 安江 尚孝 内田　廉 賀集 健太 石橋 泰典	令和 5 年度日本水産学会近畿支部後期例会
・紀伊水道北東部におけるクマエビの分布水深と再生産	高橋 芳明	黒潮の資源海洋研究

(4)委託事業報告書等刊行物

1) 漁海況速報（週刊）

2) 人工衛星画像海況速報（2023-№14～106、2024-№1～30）

(5)農林水産省研究会等資料

題　　名	発 表 者	発　表　誌
・2023 年におけるカツオひき縄春漁の経過	藤田 朋季	令和 5 年度水産資源評価･調査推進事業第 1 回カツオ SU 推進検討会資料
・2023 年のカツオ漁況について	藤田 朋季	令和 5 年度水産資源評価･調査推進事業第 3 回カツオ SU 推進検討会資料
・紀伊水道におけるカタクチイワシ仔稚魚の発生群間における形態の差異と遺伝的同一性	安江 尚孝 柳本　卓 野口 大毅 高須賀 明典	令和 5 年度太平洋中･南ブロック資源海洋研究会
・令和 5 年度中央ブロック第 1 回太平洋イワシ，アジ，サバ等長期漁海況予報について	高橋 芳明 御所 豊穂 安江 尚孝	令和5年度中央ブロック第1回太平洋イワシ，アジ，サバ等長期漁海況予報会議資料
・令和 5 年度中央ブロック第 2 回太平洋イワシ，アジ，サバ等の長期漁海況予報について	高橋 芳明 御所 豊穂 安江 尚孝	令和5年度中央ブロック第2回太平洋イワシ，アジ，サバ等長期漁海況予報会議資料
・和歌山県のアユ養殖の課題について	堅田 昌英	令和 5 年度全国鮎養殖漁業組合連合会振興懇話会資料

・令和 4～5 年間の和歌山県沿岸におけるアユ仔稚魚出現状況とその傾向	松尾　怜	令和 5 年度全国湖沼河川養殖研究会アユ資源研究部会報告会資料

(6)新聞掲載

記事見出し（内容）	掲載年月日	掲載誌名
・海水濃度で生残率向上 安定生産に期待 県水試	2023.5.19	紀伊民報
・モクズガニ種苗生産 県水試が新技術確立	2023.8.12	日高新報

(7)水産試験場成果発表会

実施日

令和 6 年 2 月 19 日

場　所

和歌山県水産試験場 2 階 学習ホール

内　容（講演及び発表題目,講演者及び発表者）

特別講演　「新庄漁業協同組合における担い手確保に向けた取組」

新庄漁業協同組合　代表理事組合長　橘　智史　氏

成果発表

・和歌山県紀伊水道海域の海況の長期変動	資源海洋部	御所 豊穂
・シロアマダイの種苗生産技術の開発	増養殖部	武田 崇史
・LAMP 法による魚類病害微生物の定性的・定量的検出技術の開発	増養殖部	賀集 健太
・令和 4～5 年の砕波帯におけるアユ仔稚魚の出現動態について	内水面試験地	北村 章博

2. 研修生・見学者の受け入れ

(1)研修生の受け入れ

1)インターンシップ

大学生インターンシップ（3 年生 1 名）	9 月 11 日～15 日

2)地域学習

串本西中学校（1 年生 5 名）	11 月 9 日
串本西小学校（4 年生 7 名，5 年生 5 名）	11 月 10 日
串本中学校（1 年生 35 名）	11 月 13 日

3)職場体験学習

串本西中学校（2 年生 1 名）	8 月 23 日～25 日
串本中学校（3 年生 1 名）	10 月 11 日～13 日